

第24期日本学術会議（第2部）臨床医学委員会・アディクション分科会（第5回）議事録

日時：令和元年11月27日（水）午後3時00分～5時00分

会場：日本学術会議6階 6-A会議室（1）

出席者：神尾陽子、池田和隆、宮田久嗣、川人光男、岡本仁、菊地哲朗、白尾智明、關野祐子、南雅文、松本俊彦

オブザーバー：重茂浩美、井手聡一郎

欠席者：伊佐正、斎藤祐見子、村井俊哉

（敬称略）

【議題】

1. 前回分科会議事要旨案の承認について

異論無く承認

2. 提言改訂箇所の確認と追加改訂について

- ・本提言を、日本学術会議臨床医学委員会 脳とこころ分科会、および基礎医学委員会 神経科学分科会の3分科会合同で提出する
- ・「依存」と「アディクション」の使い分けに関する認識の共有
- ・提言④ガイドライン作成に関しては、作成に向けた働きかけなどを分科会として行っていき、合意形成を行っていくことが重要
- ・その他修正箇所の確認
- ・現時点で3分科会および臨床医学委員会において承認され、第二部会で審議中であることを連絡

3. アディクション分科会シンポジウム開催について

- ・日本学術会議臨床医学委員会 アディクション分科会、脳とこころ分科会、および基礎医学委員会 神経科学分科会の3分科会合同で令和2年4月3日午後に日本学術会議講堂にて行う
- ・講演者として、久里浜医療センターの樋口先生には内諾を得ている
- ・シンポジウムタイトルに関しては「アディクション」の用語を使用することで、用語を浸透させることも重要である。具体的なシンポジウム名に関しては、後日メール等にて協議する
- ・パネルディスカッションは執り行う
- ・令和2年1月中旬にシンポジウムタイトルと次第を決定し、日本学術会議に主催提案書を提出する
- ・開催に向けて、助成金を獲得するとともに、後援を集めていくことが望ましい

4. 今後の活動方針の検討

- ・提言の内容を周知させるために、多方面に対して働きかけを行っていく
- ・提言の査読結果に応じて修正を行っていく
- ・「学術の動向」においてアディクション分科会の活動紹介を行う

次回分科会はシンポジウムと同様、3分科会合同で令和2年4月3日午前に日本学術会議にて行う